

救急は新たなステージへ

2025 年 10 月、**# 7119** が滋賀県内で運用開始

身体に異変があった際、119番通報をするか迷ったことはないでしょうか。「この程度で救急車を呼んでもいいのかな?」「休日で病院が空いていないけど、明日で大丈夫かな?」そんな悩みを解決するダイヤルが**救急安心センター事業、#7119**です。

携帯電話や固定電話から#7119に発信すると看護師など専門知識のある者に繋がり、助言を求めることができます。



▲詳しくはこちら

どんなときに、# 7119 にかけるの??

緊急性 がある!

- ▶ 顔にゆがみがある
- ▶ 痙攣^{けいれん}が止まらない
- ▶ 呼吸が苦しい
- ▶ 激しい胸の痛み など

すぐに **119** です!

緊急性があるかわからない...

- ▶ 体調不良で明日の朝まで待てるか不安
- ▶ どの病院に行くべきか迷う
- ▶ 指先を切った(軽傷) など

まずは **#7119** にかけてみよう

もっと知ろう!

いつ電話してもいいの?

#7119は24時間365日対応し、無料で相談できます。ただし、通話料は利用者負担です。

7119 に電話をしたけどつながらない

回線が込み合っている可能性が高いです。しばらくたってから掛け直すか、緊急を要する場合は、119番に通報してください。

7119 へかけたけど、緊急性が高い症状だった場合はどうなる?

状況に応じて119番または該当する消防本部へ電話が転送されます。

今受診できる医療機関を教えてくれる?

看護師が医療機関を案内します。ただし、受診する前には、必ず事前に医療機関に受診できるかどうか確認してください。

多言語対応できるの?

英語・中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語・ポルトガル語の6か国語に対応しています。

#7119 は子どもも対象なの?

#7119は、おおむね15歳以上が対象です。15歳未満の子どもの場合は#8000をご利用ください。

#8000 とは?

子どもの急な発熱やけがなどでお困りの時や、周りに相談できる人がいなくて不安な時に、小児科医や看護師が電話でアドバイスをします。

現場の声

命を救うために、#7119 の活用を



消防本部通信指令課
まつおか おさむ
松岡 理さん

「病院へ行くか、救急車を呼ぶか。迷ったときに医療の専門知識を持った人に相談できるダイヤルがあるのは、市民の安心につながるはず。」そう話すのは、119番通報の受付を行う松岡さんです。**# 7119 の導入により、より迅速な救急活動ができると期待を寄せます。**

「救急車の数には限りがあるため、通報時に全車両が出動していると到着が遅れ、最悪の場合、本来救えた命が救えなくなることもあります。**緊急性のない通報が減ることは、命を救うことに繋がります。**」そう話す一方、危険を感じたときは迷わず通報してほしいとのこと。「緊急性の高い傷病者に、一刻も早く救急車両を向かわせる。私たちはそのために全力を尽くします。」

常に最善を尽くす

阪神淡路大震災で被災し、命を救われた経験から消防士になることを決意された村中さんは現在、救急救命士として現場に駆け付けます。心肺の停止した子どもの蘇生や、救急車が進入できない雪山での長時間に及ぶ活動など、これまでにさまざま現場を経験したという村中さん。

精神的にも、身体的にも過酷な救急活動を続ける心の支えとなっているのは、助けることができた方からのメッセージだとか。村中さんのデスクには、救急搬送ののち無事退院された患者さんから届いたという、感謝を綴った手紙が飾られていました。「救えた方もいれば、救えなかった命もあります。しかし、**どのような状況でも患者さんの気持ちに寄り添い、最善を尽くすことを大切にしています。**」



消防署本署第2部主任(救急)
むらなか ゆうき
村中 優輝さん

救急隊からのお知らせ



YouTube で「心肺蘇生法」「正しい119番通報」などの動画をわかりやすく紹介しています。ぜひ一度見てみてください!

彦根市消防本部公式
YouTube チャンネル

